

こころの島根留学



社会医療法人 清和会

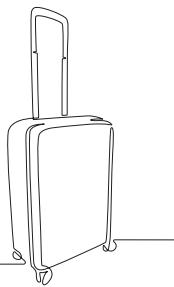
こころの島根留学

こころの島根留学、はじめます

鞄ひとつで訪れる1年間の留学

10年分の価値となるように

あなたの1年がこれから的人生にとつて



型通りの研修プログラムを終えた後、将来的キャリアに迷つたり、自分の精神科診療の深さに物足りなさを感じていませんか？

精神科医療のゴールは、病気を体験した人が回復し、目標ややりがいを見つけ、自分の人生を生きることを応援することです。

そのために、その人の価値観、ライフスタイル、家族や友人との関わり、暮らす町について本人を中心にあらゆる関係者がフラットな対話を重ねます。

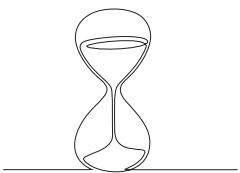
私たちは精神科専門研修プログラムを終了した若手医師とともに、社会に宿る精神医療の醍醐味を共有しながら、個人課題と地域課題を活力に変える新たな取り組みを、力を合わせて進めたいと願っています。

そのため、「こころの島根留学」はあります。

自然豊かでゆるやかな時が流れ、人間的なつながりが残る環境で留学体験をしてみませんか？

あなたの医療人としての人生に、貴重な一ページを加える機会になれば幸いです。

社会医療法人清和会 理事長 林 輝男



こころの島根留学

【1】概要

島根県浜田市に滞在しながら、精神医療の醍醐味を学ぶ短期留学制度

【3】報酬及び福利厚生

【報酬】経験に応じた十分な給与保証、福利厚生

【住居】

（）鞆一つで留学が出来る支援（）

・シェアハウス用意（自己負担なし）

・ご自身でアパートを借りる場合は自己負担（補助金あり）

・留学前住居維持の一部負担

・里帰り支援（旅費の一部援助年2回）

【車貸与】

・必要な方に無償でリース

【2】対象

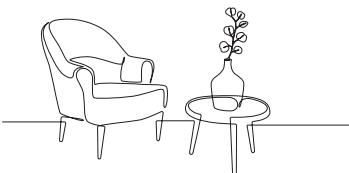
精神科専門研修プログラムを終了した卒後おおよそ5年から10年の医師等

【5】期間

2名程度／年間

1年間

【4】募集人数



マイプロジェクトを通した 意志ある学びと キャリアデザイン

2 豊富な心理社会的アプローチ



エビデンスに基づく最新の心理社会的リハビリテーション(SST, WRAP, SCIT, NEAR, IMR)に加え独自の回復支援サービス(柔道療法など)を学ぶ。

3 多職種との連携



10を超える多職種が、自由にチャレンジできる職場環境で多職種連携、当事者参加のカンファレンスを学ぶ。多職種連携委員会という独自の活動も展開²⁾。

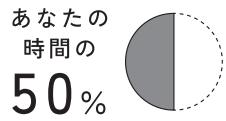
4 福祉事業との協働



5 アウトリースによるリカバリー支援



ACTやIPS³⁾などの、日本の医療機関では滅多に体験できないリカバリーを目指すアウトリースを体験する。



6 地域とつながる医療



コンパクトな街中のサテライトクリニックで地域診療、訪問診療、運営方法を体験。

7 メンタルヘルス啓発活動



小学校でのメンタルヘルス授業、映画上映会などを通じて町中で対話の場を作るスティグマ解消活動を実践中。新企画に常に挑戦し、地域ネットワーク作りも進行中。

8 ピア活動



9 地域のウェルビーイングを育む



当事者参加、活躍の場の共創の一環で、ピア活動を応援。現在、ピア主体のグループ「ピアタウン」が活躍中。孤立、ひきこもり、自死など地域が抱える複雑なメンタルヘルスの課題を知り、行政など地域のステークホルダーと連携し、課題解決に向けて「地域の中に、道をつくる」活動。

あなたの目的に応じた年間プランを立て
実践



地域唯一の入院対応できる精神科医療機関。いずれの精神疾患にも対応。急性期から慢性期、地域医療と幅広い体験。精神保健指定医症例は豊富¹⁾。

1)令和6年度新たな入院者 延べ438名、退院者 延べ447名、外来疾患分類: F0 16%、F1 5%、F2 24%、F3 29%、F4 13%、その他 13% (月約延べ1,400人)。時間外診療件数 71.2件/年。

2)令和5年度全職種参加型合同カンファレンス 24回、病棟カンファレンス 246回。

3)ACT: Assertive Community Treatment. IPS: Individual Placement and Support. 訪問看護 9,643件 (S-ROT 3,450件)。

プロジェクトシート

概要

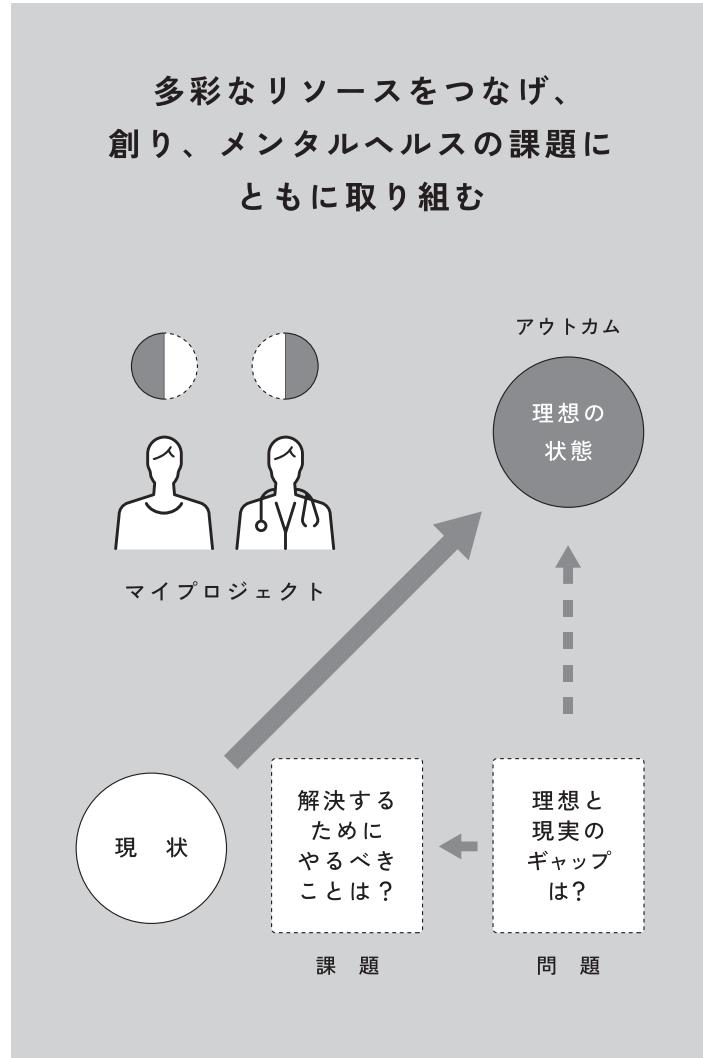
- ①理想の状態（アウトカム）
- ②現状
- ③理想と現実のギャップ（問題）
- ④解決するためにやること（課題）

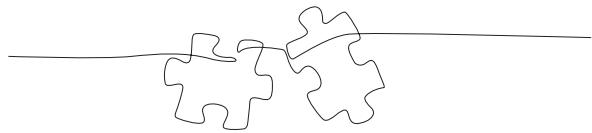
達成目標

スケジュール

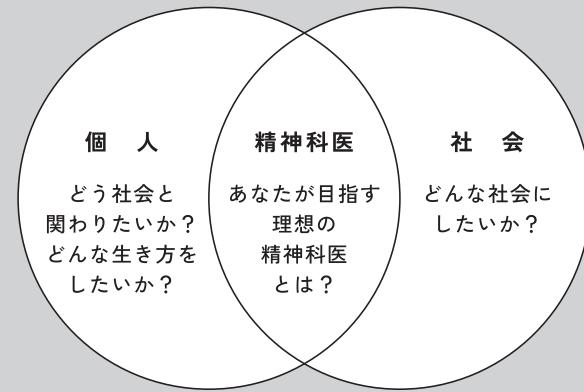
プロジェクトを推進するために必要な外部資源（人・モノ・金・情報・知的資源）をどのように活用するか？

プロジェクトを推進するために自分はどのような役割を担うか？





どんな精神科医に
なりたいですか？



[1] 概要

〈家〉 home

〈健康〉 health

共同生活援助事業・短期入所事業
居住支援センター
すまいのサポートセンター

西川病院

精神科・神経科・内科

病床数：402床

心理社会的リハビリテーション

(SST, WRAP, SCIT, NEAR, IMR)

認知症疾患医療センター

依存症治療拠点機関（アルコール）

■ こころクリニックせいわ

精神科

■ 訪問看護ステーション

〈仲間づくり〉 community

精神科デイケア・重度認知症デイケア
生活介護事業・地域活動支援センター
浜田市基幹相談支援センター・相談支援事業
ピアサポート・企画広報・メンタルヘルス
教育

〈目的づくり〉 purpose

就労継続支援 A型・B型事業
IPS（伴走型個別就労支援）

※リカバリー支援の4要素（SAMHSA…アメリカ連邦保健省薬物依存精神保健サービス部）に基づいた組織構成



[2] 特徴

〈歴史〉

島根県で最も古い精神科医療機関として、70年以上の歴史を持つ。

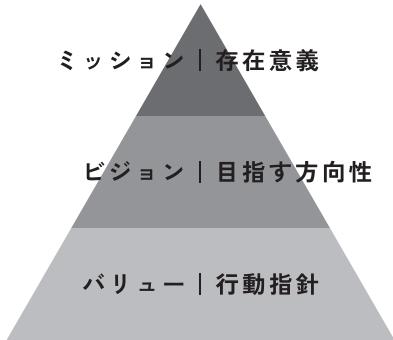
〈本人中心のケア〉

米国バーモント州の Community Rehabilitation Treatment (CRT) システムをモデルに、本人中心の先進的、創造的で多様な治療、支援を導入。

〈スタッフの働き方〉

役職を超えてスタッフ同士がフラットな関係で、フレッシュな対話ができる職場環境を重視。本人を交えた多職種カンファレンスを日常的に行っている。

[3] 清和会が目指すもの



ミッション | 存在意義

- 浜田圏域精神医療の最後の砦
- 最良のリカバリー支援を提供する
- 誰もが希望を持って生活できるメンタルヘルスの地域モデルを創る

ビジョン | 目指す方向性

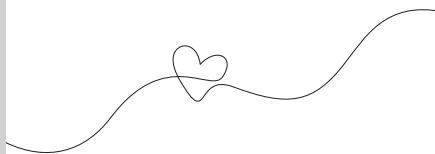
今この時の当事者の思いを第一に、愛する地域の人々と対話を重ね、日々創造し、成長（学習）できる医療法人になる

バリュー | 行動指針

自由・開放・科学

今後の展望

本人、市民と協働し、誰もが参画できる精神医療、福祉モデルを実装し、社会課題の解決に貢献したい。



「4」若手医師のコメント

「経験できる幅が広いですね。急性期から地域、看取りまで。地域支援者の顔が見える環境で治療がスムーズに進みます。町は、普通に生活するには困らないかな。人がフレンドリーでご飯がおいしいですね。」

勤務医 精神科専攻医

「カンファレンスに患者本人が参加していたのが印象的でした。直接話を聞けること、患者は多くの人が自分の治療方針に関わっていると実感できるなど、利点が多いと感じました。」

見学者 精神科専攻医

「私はソフト面、つまり人や法人全体の風土に感銘を受けました。患者さんの個々のニーズを叶えていくために、自由な発想でチャレンジできる環境がありました。」

見学者 中堅精神科医

清和会 ホームページ



島根県浜田市

浜田市は、島根県西部に位置する自然と伝統文化が調和した魅力的な町です。

日本海に面し、美しい海岸線や夕日が楽しめる一方、山間部には緑豊かな自然が広がり、アウトドア活動も充実しています。特に浜田港で水揚げされる「どんちっちアジ」などの新鮮な魚介類は、日常的に楽しめる贅沢です。

また、地域に息づく「石見神楽」は、伝統文化を体感できる特別な存在で、夏祭りでは迫力ある舞台を堪能できます。生活環境も魅力的で、冬期は積雪がほとんどない温暖な気候、子育て支援制度の充実など、ファミリー層にも最適

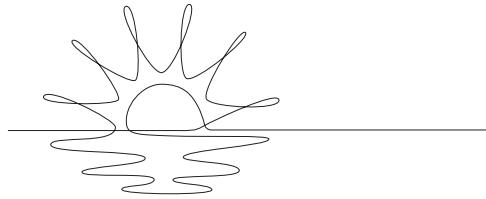
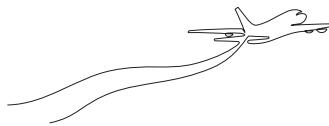


はまだぐらし



です。隣市にある萩・石見空港から東京まで1時間半で行くことができます。

自然と文化、利便性がバランス良く揃う浜田市で、未来のキャリアをデザインする学びの時間を過ごしませんか。



こころの島根留学

[問い合わせ先]

せいわ企画広報室

〒697-0052 浜田市港町 293 番地 2 社会医療法人 清和会 西川病院内

📞 0855-22-2390 (代表) 🎤 nishikawa2390@gmail.com



All for mental health